



平成22年7月29日

各 位

上場会社名 住商情報システム株式会社
 代表者 代表取締役会長兼社長 中井 信英
 (コード番号 9719)
 問合せ先責任者 財務経理部長 松田 康明
 (TEL 03-5166-2500)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年4月28日に公表した平成23年3月期第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日～平成22年9月30日)の業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	61,500	1,900	1,900	700	14.01
今回発表予想(B)	64,000	2,100	2,100	1,200	24.02
増減額(B-A)	2,500	200	200	500	
増減率(%)	4.1	10.5	10.5	71.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	61,442	1,927	2,117	788	15.79

修正の理由

第1四半期の実績及び直近の事業環境から、売上高は、第2四半期連結累計期間においてITプロダクト販売を中心に期初予想を上回る推移が見込まれます。利益面では、販売管理費を中心とした経費の削減、第1四半期における投資有価証券売却益の計上などもあり、営業利益・経常利益・四半期純利益の各利益において期初予想を上回る見込みです。以上を勘案し、第2四半期連結累計期間の業績予想を修正いたします。

なお、通期につきましては、IT投資全般の回復傾向は顕著であり、第1四半期では弱含んだソフトウェア開発投資も今後回復することが期待されます。また、前記の上半期業績を勘案いたしますと、当社の通期業績は総じて強含みで推移することが想定されます。しかしながら、欧州金融市場の混乱あるいは円高その他の懸念材料のある中、経済の先行きは不透明であり、現時点では保守的に考え、通期にかかる期初予想は据え置くことといたしました。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在における経済動向や市場環境をはじめとした情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上